

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	21130	電話	042-769-8241
担当部課名	環境保全部	環境保全	課	規制指導 班
事務事業名	環境指導啓発費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	地球環境の保全に向けた取り組み	11年度
施策名	第3施策	公害防止対策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

神奈川県生活環境の保全等に関する条例等

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

県市協調事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
生活を取り巻くさまざまな公害の防止対策の推進に取り組み、市民の良好な生活環境を保持する。	市民全般 工場・事業場等からの公害
	対象数 61.5万人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・公害苦情相談に係る調査及び指導 387件 ・野焼きパトロールの実施 50回 ・大気汚染等緊急時の措置 3件 ・指定事業所の登録・管理 	
総事業費 2,245千円 旅費 358千円、需用費 339千円、役務費 239千円、委託料 1,181千円 負担金 115千円 公課費 13千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	野焼き発生比率	対象年度件数÷平成11年度件数×100	事業開始年度である平成11年度を100として、件数の比率によって成果を表す。	90	40	53	50	45
	公害苦情相談率	対象年度公害苦情の相談件数÷世帯数×100×100	市内の全世帯における公害苦情件数の割合を示し、年度による推移を表す。	14	15	15	15	15

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	4,302	2,455	2,245	4,276	2,404
人員・時間数	15,550時間	15,550時間	15,550時間	15,550時間	15,550時間
人件費	64,688	64,688	64,688	64,688	64,688
その他経費					
合計	68,990	67,143	66,933	68,964	67,092
特定財源					
対象数	605,000	610,000	615,000	620,000	625,000
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C：達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	野焼き件数は減少しており、公害苦情発生件数も改善が見受けられ安定している。						
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている						
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している						
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない						
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 事由は様々であるが、年間において約400件の苦情がありほぼ毎日対応している状況である。						
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である						
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている						
	C：有効ではない		説明 指導をした結果、改善される事例がほとんどである。						
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている						
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている						
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 公害苦情の相談体制が確立しており、予算の範囲内で効果をあげている。						
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である						
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である						
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)						
		説明	対象者について、全く公平である。						
成果向上の余地				事業費削減のために取り得る手段と削減額					
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 事例に応じ、他課との連携をより積極的に図る。			手段	これ以上削減の余地はない。				
				削減額	千円				

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
	県内他市の状況と比較して、公害苦情相談件数の対人口比は同程度であり、特徴的な違いは見受けられない。苦情の解決も同様にはかかられている。		
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	見直し	今後も、安全で住みよいまちづくりができるよう公害の防止対策に努めるとともに、苦情等に対しより迅速に対応するよう努める。	
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント

--